

平成 28 年度事業計画

I. 調査研究事業部門

1. 調査研究事業

平成 28 年度に計画する主な調査研究は次のとおりである。

- (1) 嗜好品と人間・社会に関する調査研究
- (2) 嗜好品文化研究
- (3) たばこ史・たばこ産業史研究
- (4) たばこ神社に関する調査研究
- (5) 研究関連情報の整備

2. 研究助成事業

嗜好品等に関する人文・社会科学等の分野の研究を促進し、学術の振興に寄与することを目的として、研究助成を実施する。

3. 普及啓発事業

普及啓発活動は調査研究活動の成果等を広く国民に提供する目的で行うものである。平成 28 年度に計画する主な普及啓発活動は次のとおりである。

(1) TASC 定期出版物の発行

① 「談」

各分野の研究者・有識者へのインタビュー等を通じて、時代と共に変化する社会の大きな流れを読み解き、次の時代を生きる価値観を模索するための研究誌として、年間 3 回発行する。

② 「TASC MONTHLY」

財団の活動状況報告及び財団内外の執筆者による現代に生きる人間及び社会に関わる小論やエッセーを掲載して毎月発行する。

③ 「たばこ史研究」

大学等研究機関の研究者および在野のたばこ史に関する研究者の論文等の発表の場として、年間 4 回発行する。

④ 「平成 27 年度事業概要」

(2) TASC ウェブサイト発信情報の充実

人文・社会科学分野の有識者の寄稿を取り纏め、TASC ウェブサイトに特別シリーズ「豊かな生き方、豊かな社会を考える」と題するシリーズ欄を設け、情報発信を行う。

Ⅱ. 博物館事業部門

博物館ミッションおよび博物館中期計画 2015～2017 に基づき、多様な来館者の満足度向上および博物館機能の充実・強化を最優先として、下記のとおり取り組む。

1. 博物館業務および運営体制の見直し・改善

- (1) リニューアル後の博物館（以下 新博物館という。）の一年間の活動を踏まえ、諸施設の運営マニュアルの見直し・改善を行い、質の高い入館者サービスの維持に努める。
- (2) 新博物館運営の業務体制の確立を目指し、その意義・役割について長期的な視点の下再検討を行う。

2. 新博物館収蔵庫における史・資料保管体制の確立

- (1) 旧博物館からの移転を完了した収蔵資料について、今後の博物館活動において資料を円滑に活用できるよう、新博物館収蔵庫内の整理を進める。
- (2) 新博物館収蔵庫内の環境整備をはじめ資料の保管体制の確立を進め、博物館全体で I P M（総合的有害生物管理）に取り組むための体制づくりを継続して行う。

3. 積極的な対外広報活動

- (1) 特別展を中心に、各種講演会や落語会、映画上映会の実施など、質の高い情報発信活動を展開する。
- (2) 収蔵資料に加え、J T および J T I 関連文化遺産等のデータベース化を進め、常設展示室および図書閲覧室での活用について、引き続き検討する。
- (3) 調査研究活動については、これまでのテーマの継続とともに、新博物館の中長期的な活動に必要とされる新たなテーマ等を整理し、さらなる情報の蓄積を図る。
- (4) 周知広報活動については、これまでの P R 活動を通じ明らかになった課題を踏まえ、積極的かつ効率的・効果的に実施する。

4. その他